

SFOODS NEWS

平成18年2月期 中間事業報告書

平成17年3月1日～平成17年8月31日

Top Reports



代表取締役社長 CEO
森島 征夫

企業集団の営業経緯 および成果について ご報告

市場の概況と当社の経営戦略

輸出の増大や企業の収益性改善により、輸出関連企業を中心に企業業績はおおむね回復基調にあります。本格的な国内景気の回復はこれからという状況です。また、少子高齢化や女性の社会進出などにより個人の消費動向も変化しつつあります。このような市場の変化への機敏な対応力と、より幅広い事業活動を求めて、3月1日エスフーズ株式会社と株式会社ムラチクは合併し、新生エスフーズは総合食肉企業として新たな道を歩み始めました。合併により経営基盤を盤石なものにし、バラエティーミートを主体とした輸入牛肉と国産牛肉というお互いの得意分野を生かしつつ、食肉市場のシェアを伸ばして行くことが両社にとって最善の道であると判断したからです。さらに、8月9日に株式会社オーエ



オーエムツネットワーク小売店頭

ムツネットワーク（JASDAQ上場）株式を公開買付により取得し、同社を当社の連結子会社といたしました。これにより、食肉を中心とした全国約160店の小売店網を傘下に加えることとなりました。

対処すべき課題と長期的展望

当面の課題は、グループ各企業の強みを生かした弱点を補完し合うことによるグループ経営の強化、豚バラエティーミートの新ビジネスモデルの確立、米国産牛肉の輸入停止により破壊されたビジネスモデルの復興への挑戦などです。長期的には、人類にとり貴重で大切な動物性蛋白質である国内外の牛・豚・鶏等の安全な食品を真心をこめて取り扱う総合食肉企業へと躍進し、「バラエティーミート世界一、食肉日本一」を実現し、食肉文化の国内外への一層の普及に務めてまいります。



和牛のしゃぶしゃぶ

具体的施策～新製品とグループ経営の強化

当社は、創業以来、焼肉文化の普及を通じて食文化の向上に貢献してまいりました。しかしながら、米国でのBSE発生により米国産牛肉の輸入が停止してから2年近く経過し、米国産牛肉を主に使用していた焼肉業界はもとより、食肉小売、外食などの産業が大きく破壊されました。この間当社といたしましては、これら破壊された産業を守り、そして復興することが企業の社会的使命と役割であると信じ、諸施策を実施してまいりました。具体的には、まず、豚大腸を原料とした「とんてっちゃん」を始めとする、牛肉以外の食肉製品を開発し拡販いたしました。次に、豪州産牛肉を当社製造技術で日本人好みのおいしさに加工し

た「味わい焼肉」を開発し販売いたしました。また、オーストラリア・レンジャーズバレー高原牧場の牛製品の日本国内での販売権を取得し、豪州産牛肉の高級ブランド「Naruo牧場」製品の独占販売を開始しました。

さらに、本年3月1日には、株式会社ムラチクとの合併により、国産牛肉の強い仕入れルートと販売マーケットが加わりました。現在、この合併による相乗効果を最大限に発揮するために、営業拠点の整備による営業力の強化やコンピューターシステムの統合による経営効率の向上などを着々と進めております。また、8月9日に、株式公開買付により株式会社オーエムツネットワークをグループに迎え入れ、川上から川下までの太い流れを持つ総合食肉企業グループを作り上げました。



名古屋営業所 完成予想イラスト

当中間期の成績

様々な施策をグループ一丸となって迅速に実施した結果、以下の業績をあげることができました。当中間期の売上高は372億9千5百万円（前年同期比94.5%増）、経常利益は13億1千1百万円（前年同期比49.0%増）、当期純利益は7億5千8百万円（前年同期比55.6%増）となっております。

通期の見通し

従来当社の売上の過半を占めていた米国産牛肉の輸入が年内にも再開される、との見方が強まっていますが、仮に輸入が再開されても当面輸入数量は限定的なものとなり、本格的な輸入量増加は来期以降と予想されます。よって、当期業績見直しには米国産牛肉を含んでおりません。一方で、米国BSE問題発生以降、食肉マーケットは供給不足による異常ともいえる

高値状態が続いていましたが、米国産牛肉の解禁を睨んで食肉相場が下落するなど、マーケットは正常化に向けた調整局面に入るものとみております。当社といたしましては、新ビジネスモデルとして期待する「豚もつ鍋」を中心に、新たに開発した「とんてっちゃん」ブランドの浸透に努めるとともに、「こてっちゃん」を始めとする既存ビジネスモデルの復活に向けた準備に取り組んでまいります。また、株式会社ムラチクとの合併効果につきましては、国内営業所の新設や統廃合を通じて営業力が強化されるなど、徐々に現れております。具体例の一つとして、10月末には、成長著しい中京地区におけるシェア拡大を目指し、ミートセンター（国産牛の加工工場）を併設した名古屋営業所を新設いたします。

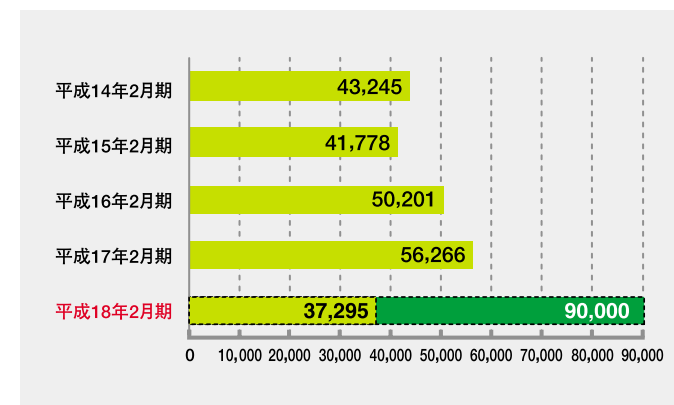


豚もつ鍋

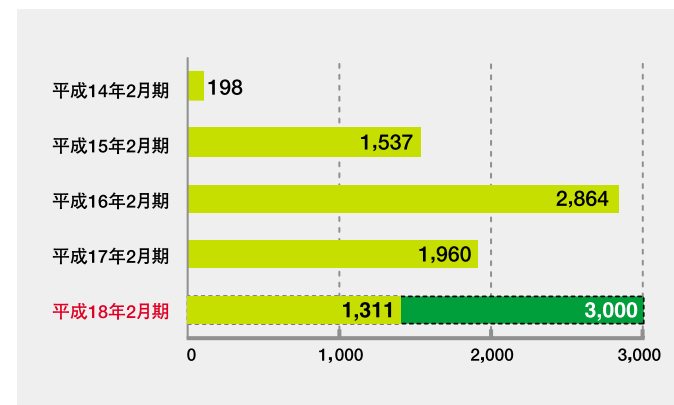
従いまして、当下半期の業績は、米国産牛肉の輸入解禁を睨み、食肉相場の下落に伴う販売損失の計上や代替製品から米国産牛肉への切り替えや再開準備等、一時的なマイナス要因の発生を見込んでおります。また、営業所新設や統廃合に伴い不要となる資産については、迅速に整理・整頓するなど、グループ合計で3億円程度の特別損失（固定資産処分損）の計上を予定しております。なお、今後とも当社の「負の資産を持たない」という財務健全化方針に基づき健全なバランスシートの維持に努めてまいります。以上により、通期見通しの修正を行い、平成18年2月期の売上高は900億円（前期比60.0%増）、経常利益は30億円（前期比53.1%増）、当期純利益は12億5千万円（前期比19.8%増）を見込んでおります。

営業成績(連結)

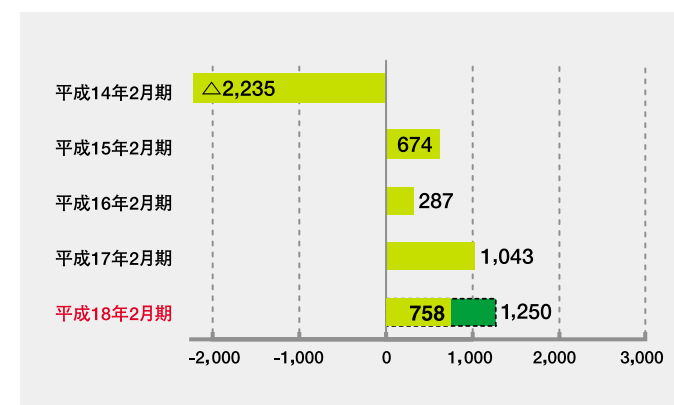
●売上高 (単位:百万円)



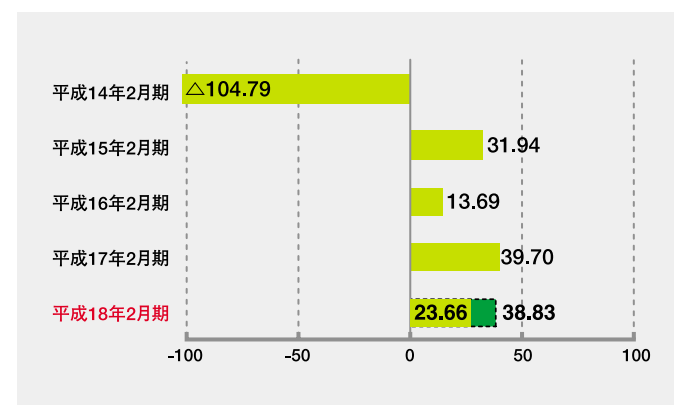
●経常利益 (単位:百万円)



●当期利益 (単位:百万円)

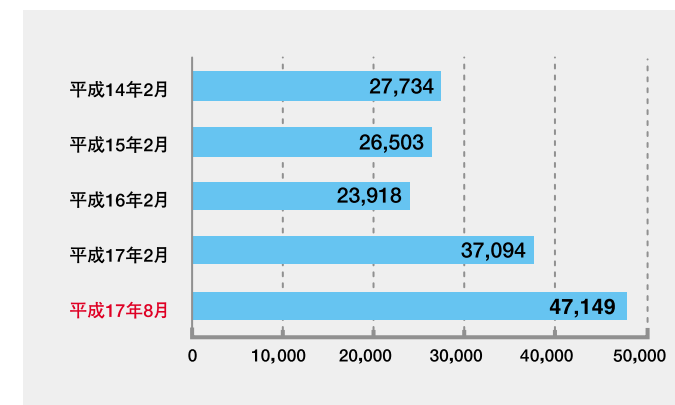


●1株当たり当期利益 (単位:円)

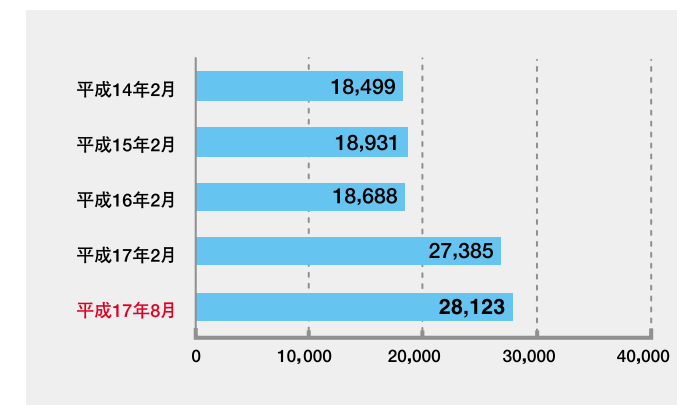


財務状況(連結)

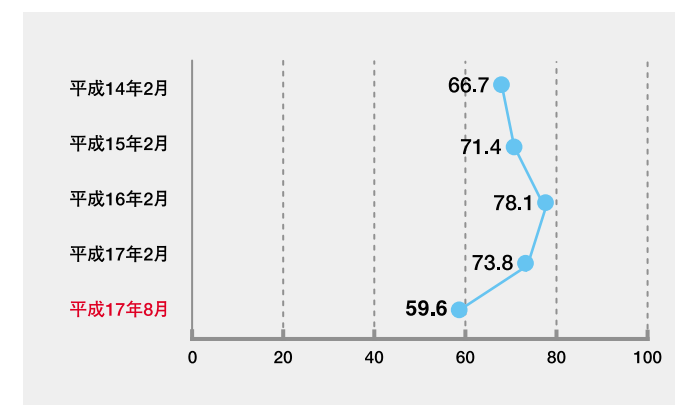
●総資産 (単位:百万円)



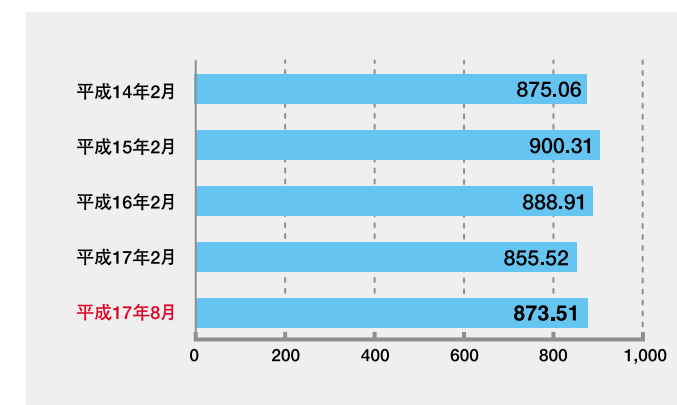
●株主資本 (単位:百万円)



●株主資本比率 (単位:%)



●1株当たり株主資本 (単位:円)



●連結キャッシュ・フローの状況（単位:百万円）

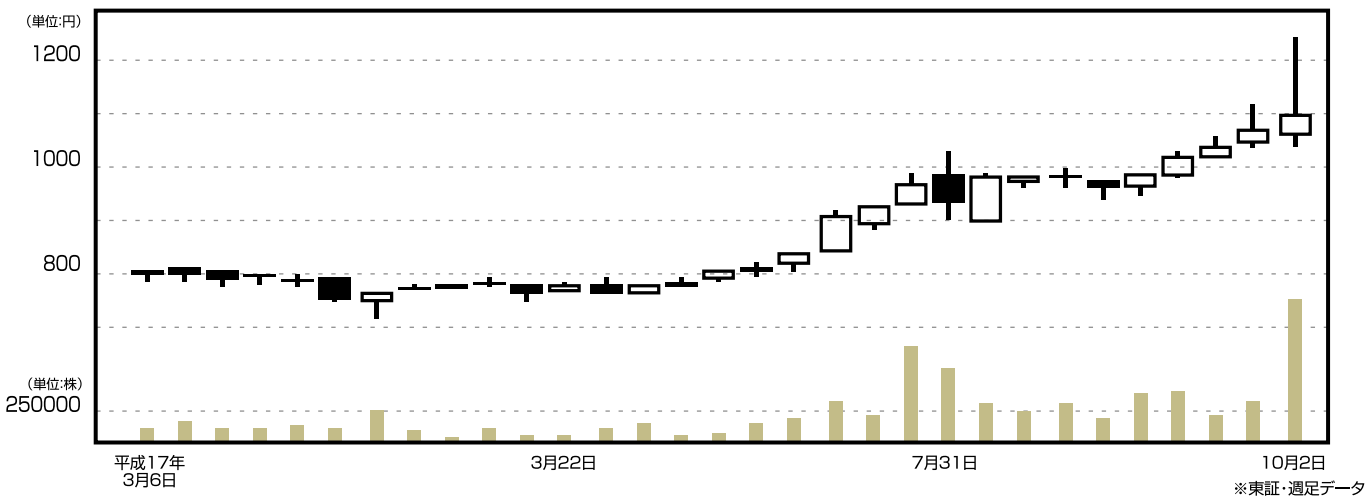
	平成16年8月期	平成17年8月期	平成17年2月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,436	△1,017	5,475
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,101	129	△555
財務活動によるキャッシュ・フロー	△237	△167	△1,034
現金および現金同等物の期末残高	3,294	5,033	6,078
借入金・社債期末残高	25	2,208	383

●配当の状況（単位:円）

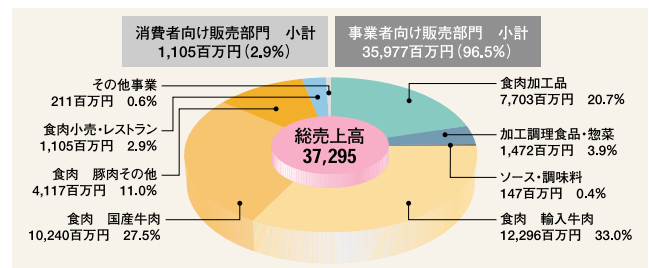
	平成15年2月期	平成16年2月期	平成17年2月期	平成18年2月期
一株当たり年間配当金	18	22	12	16
（中間配当金）	（-）	（11）	（6）	（8）
（期末配当金）	（18）	（11）	（6）	（8）

（注）平成15年2月期の配当金は、記念配当金6円を含んでおります。

株価の推移と株式の売買高



●部門別売上高（連結）



●株式の状況

発行する株式の総数	120,000,000株
発行済株式の総数	32,230,721株
株主数	2,955名（前期末比53名減少）

インフォメーション

エスフーズの新しい味が揃いました。

豚もつ鍋シリーズ

リニューアル
発売



とんてっちゃん豚もつ鍋【しょうゆ味】

- 博多の味を基本に旨みとコクを強調したスープ。
- やわらかく、食感の良い豚大腸のみ使用しています。



とんてっちゃん豚もつ鍋【みそ味】

- 人気の味噌2種類をブレンドしたこだわりスープ。
- やわらかく、食感の良い豚大腸のみ使用しています。



とんてっちゃん豚もつ鍋【キムチ味】

- 家族みんなで美味しく食べられる辛さのキムチ味。
- 白菜キムチの風味と豚大腸のやわらかな食感の組み合わせ。

煮込みシリーズ

新発売



豚もつ煮込み みそ味
コクと旨みのある濃厚みそ味。煮込み、鍋にピッタリの豚大腸と群馬産こんにやくを使用。



牛すじ煮込み みそ味
あわせ味噌仕立てのこってりした味つけ。食感の良い牛すじと群馬産こんにやく入り。

鍋用スープシリーズ



もつ鍋スープ
かつおとボークエキスで旨みとコクをぎかせたしょうゆ味。



豚みそ鍋スープ
長期熟成により味に深みが増したみそを合わせたまろやか仕上げ。



キムチ鍋スープ
家族みんなで食べられる辛さをおさえたキムチ鍋用。



塩ちゃんこ鍋スープ
鶏がらスープをベースにした、すっきり塩味仕上げ。



はりはり鍋スープ
素材の味を引き立てる、あっさりしょうゆ味仕上げ。

■ エスフーズ会社概要

社名	エスフーズ株式会社
	S Foods Inc. (コード番号 2292東証・大証1部)
設 立	昭和42年5月22日
代表者	代表取締役社長 森島征夫
	代表取締役副社長 村上真之助
資本金	42億8,658万円
従業員	1,121名
事業内容	食肉加工品、加工調理食品・惣菜、
	ソース・調味料の製造販売 食肉の販売
関連会社	株式会社オーエムツーネットワーク (JASDAQ上場)
	株式会社エムアンドエム食品
	ミスタースタミナ株式会社
	株式会社ケンショク
	フォエム食品加工株式会社
	株式会社味兆
	五愛焼肉コンセプト株式会社
	FREMONT BEEF COMPANY (アメリカ合衆国)
	すこやか食品株式会社
	鳴尾興産株式会社

■ 株式メモ

■ 決 算 期	毎年2月末日
■ 定時株主総会	毎年5月
■ 基 準 日	(1) 定時株主総会については2月末日
	(2) その他必要あるときはあらかじめ公告する一定の日
■ 公告掲載	日本経済新聞
	※決算公告については当社ホームページ上に貸借対照表及び損益計算書を掲載いたしております。 (http://www.sfoods.co.jp/investor/koukoku.html)
■ 株式名義書換	
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問い合わせ先)	
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料)	
同 取 次 場 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
	野村證券株式会社 全国本支店
● 株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。	
電話 (通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部) 0120-684-479 (大阪証券代行部)	
インターネットホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/	
■ 1単元の株式の数	500株



エスフーズ株式会社 〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目22番13 TEL.0798-43-1065 (代表)
<http://www.sfoods.co.jp/>